

原子力防災に係る研修体系 について



研修体系



③中核人材の育成

【目的】

- ・中核的役割を担う人材の育成
- ・避難、住民対応、スクリーニング検査等個別の業務に対する能力の向上

【研修】

- ・中核人材研修（国）
- ・実務人材研修（避難退域時検査、バス避難等）（国）
- ・リスクコミュニケーション研修会（県）

②原子力災害時の計画 策定・実務能力の向上

【目的】

- ・防護措置の計画策定および実施に関する能力の向上
- ・緊急時モニタリングの実務能力の向上

【研修】

- ・原子力災害対策要員研修（国）
- ・原子力災害現地対策本部図上演習（国）
- ・モニタリング実務研修会（県）

①原子力災害対応に関する 基礎知識の習得

【目的】

- ・原子力災害時の防護措置および放射線の基礎知識の習得
- ・緊急時モニタリング活動に必要な基礎知識と技術の習得

【研修】

- ・原子力防災基礎研修（県）
- ・防災業務関係者研修（県）
- ・モニタリング技術基礎講座（国）

原子力防災基礎研修

①基礎知識の習得

【対象】

消防、警察、市町、県職員

【開催日および受講者数】

1回目：令和元年7月19日 23人

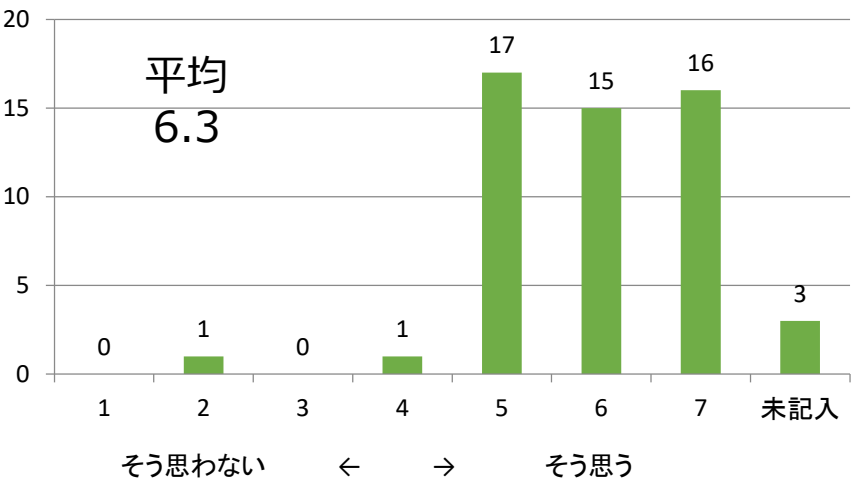
2回目：令和元年7月26日 30人

【カリキュラムおよびアンケート結果】

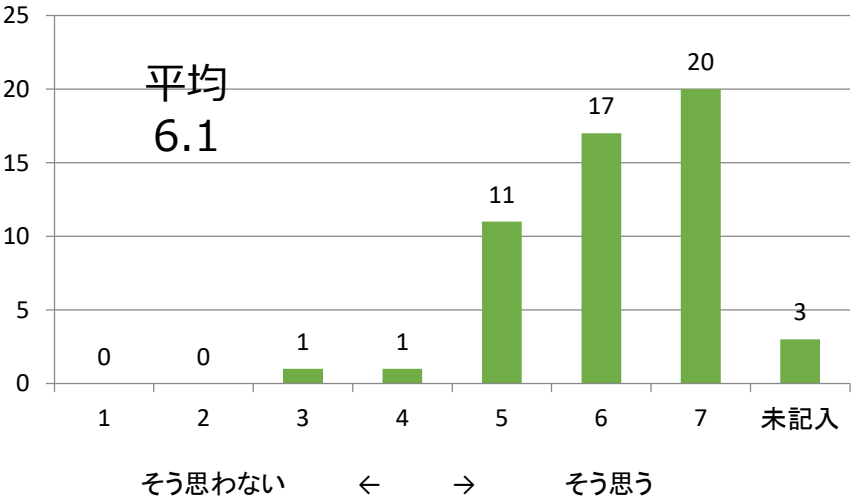
分	項目	内容	受講生評価（講義の内容は理解できたか）																
30	【講義1】 原子力災害時の防災対策	<ul style="list-style-type: none">原子力発電所の概要原子力災害とその特殊性原子力災害時の防災対策	<div><table><tr><th>評価</th><th>人数</th></tr><tr><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>4</td><td>2</td></tr><tr><td>5</td><td>18</td></tr><tr><td>6</td><td>15</td></tr><tr><td>7</td><td>16</td></tr></table></div> <div>平均 5.7</div>	評価	人数	1	1	2	0	3	1	4	2	5	18	6	15	7	16
評価	人数																		
1	1																		
2	0																		
3	1																		
4	2																		
5	18																		
6	15																		
7	16																		
60	【講義2】 放射線と放射能の基礎知識	<ul style="list-style-type: none">放射線と放射能身の回りの放射線放射線の性質確認（実習）	<div><table><tr><th>評価</th><th>人数</th></tr><tr><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>4</td><td>2</td></tr><tr><td>5</td><td>17</td></tr><tr><td>6</td><td>16</td></tr><tr><td>7</td><td>17</td></tr></table></div> <div>平均 5.9</div>	評価	人数	1	0	2	0	3	1	4	2	5	17	6	16	7	17
評価	人数																		
1	0																		
2	0																		
3	1																		
4	2																		
5	17																		
6	16																		
7	17																		
55	【講義3】 被ばく防護の考え方	<ul style="list-style-type: none">放射線の人体への影響原子力災害の被ばくの経路被ばくの防ぎ方被ばくの方法	<div><table><tr><th>評価</th><th>人数</th></tr><tr><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>3</td><td>0</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>5</td><td>17</td></tr><tr><td>6</td><td>15</td></tr><tr><td>7</td><td>15</td></tr></table></div> <div>平均 5.8</div>	評価	人数	1	0	2	0	3	0	4	5	5	17	6	15	7	15
評価	人数																		
1	0																		
2	0																		
3	0																		
4	5																		
5	17																		
6	15																		
7	15																		
70	【講義4】 放射線測定器等の取扱い実習	<ul style="list-style-type: none">防護服等の着脱方法測定器の操作方法汚染測定方法簡易除染の方法	<div><table><tr><th>評価</th><th>人数</th></tr><tr><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>4</td><td>1</td></tr><tr><td>5</td><td>9</td></tr><tr><td>6</td><td>11</td></tr><tr><td>7</td><td>29</td></tr></table></div> <div>平均 6.2</div>	評価	人数	1	0	2	0	3	2	4	1	5	9	6	11	7	29
評価	人数																		
1	0																		
2	0																		
3	2																		
4	1																		
5	9																		
6	11																		
7	29																		

【アンケート結果からみる評価】

①研修全般の内容に満足できたか。



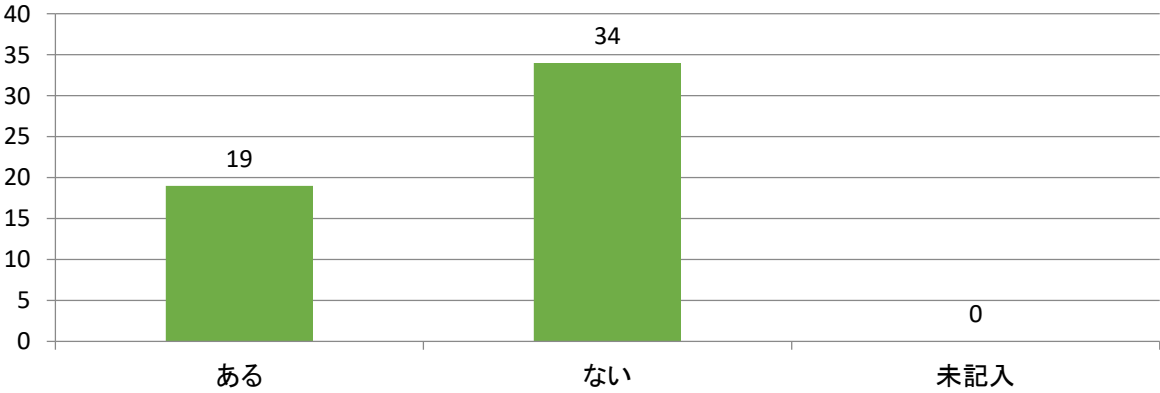
②研修で得られた知識や情報は、今後の原子力防災業務に役立つか。



【研修受講者の属性】

所属	人数	所属	人数
滋賀県	7	消防関係（UPZ内）	6
大阪府	3	消防関係（UPZ外）	28
市町（UPZ内）	1	警察職員（UPZ内）	0
市町（UPZ外）	7	警察職員（UPZ外）	1

【福島第1原子力発電所事故後から現在までに、原子力災害対応活動に関する教育研修や訓練に参加したことがあるか】



防災業務関係者研修

①基礎知識の習得

【対象】

災害時の応援協定等締結している団体、民間事業者等

【開催日および受講者数】

- 1 回目：平成31年1月23日 11人
- 2 回目：平成31年 2 月7日 11人
- 3 回目：平成31年 2 月8日 8 人

【カリキュラム】

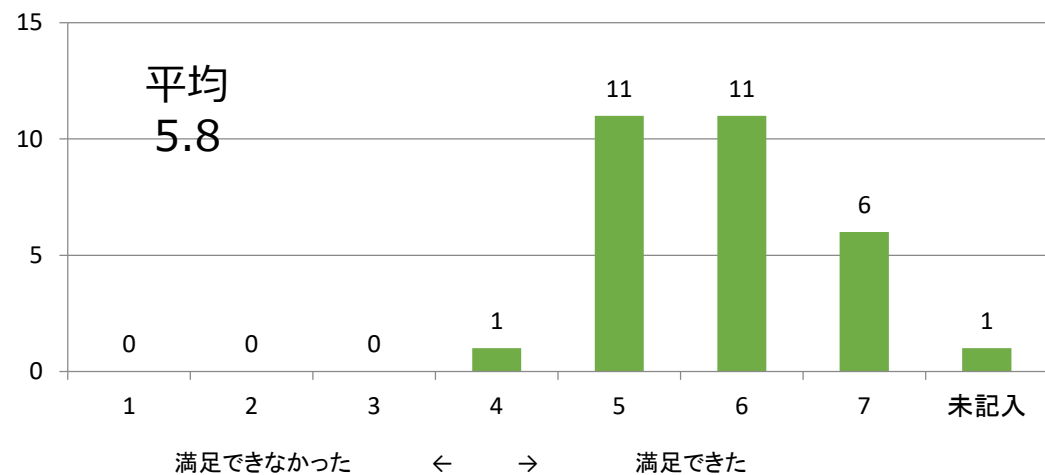
所属	人数
バス会社職員	20
建設業関係職員	4
その他	6

業務	人数
管理職	16
運行管理者 （配車責任者等含む）	8
運転手（乗務員）	3
その他	3
未記入	0

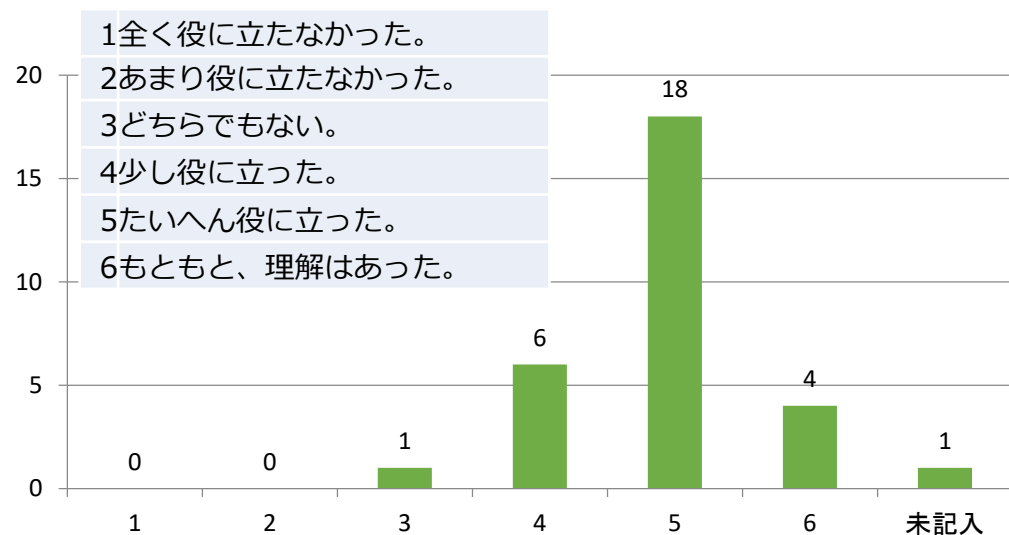
分	項 目	内 容
40	原子力災害時の防災対策	原子力災害時の防護対策の内容及び流れについて ・ 滋賀県の原子力防災対策 ・ 災害発生から避難までの流れ
40	放射線防護のために必要な基礎知識	・ 放射線と放射能 ・ 放射線の人体への影響 ・ 被ばく線量の測定と被ばくの管理
60	放射線測定器の取扱、防護装備の着脱方法等	・ 被ばく管理のための電子式個人線量計の取扱実習 ・ 防護装備の装着及び脱衣実習 ・ 汚染検査の手順

【アンケート結果からみる全体評価】

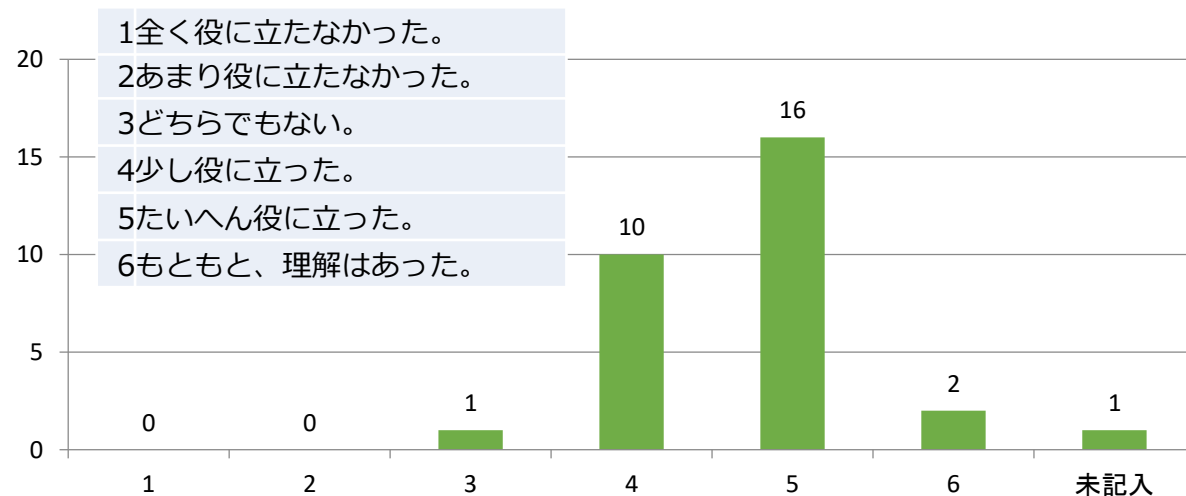
①研修全般の満足度



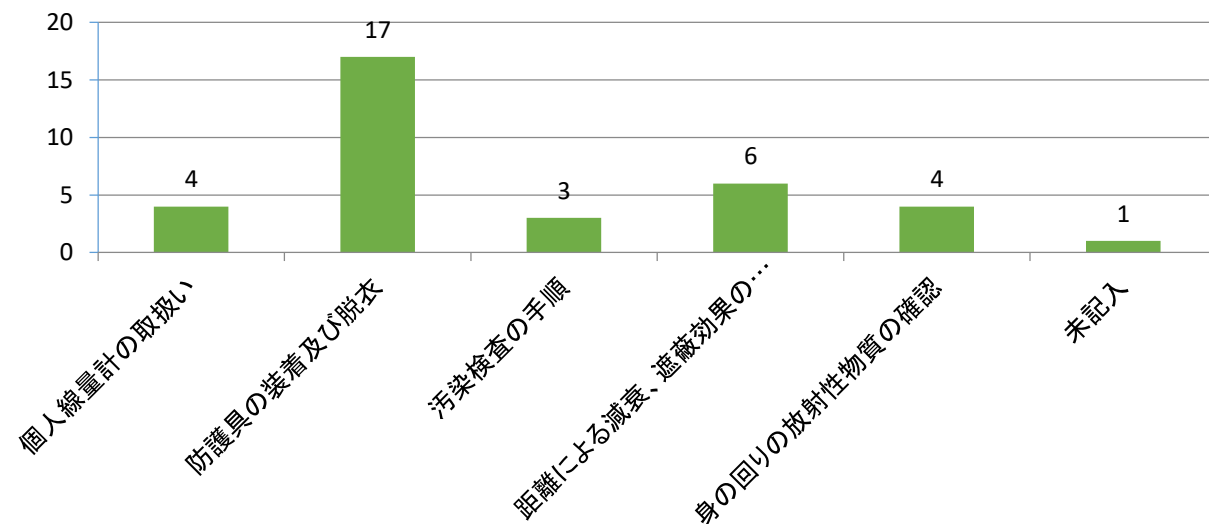
②今回の研修は、「放射線による人体への影響」の理解に役立つか。



③今回の研修は、「原子力災害時でのご自身の業務遂行にあたっての不安」の軽減に役立ったか。



④一番ためになった実習は何か。



モニタリング実務研修会

②実務能力の向上

【対象】
緊急時モニタリング業務に従事する県職員

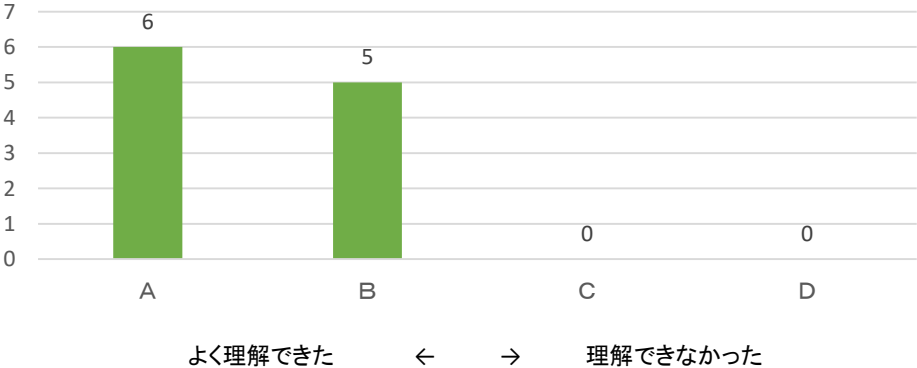
【開催日および受講者数】
1回目：令和元年9月27日 6人
2回目：令和元年10月3日 6人

【カリキュラム】

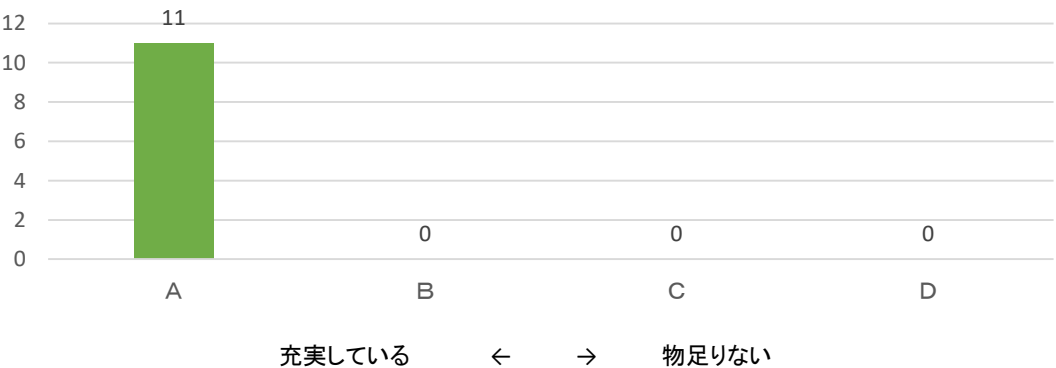
分	項 目	内 容
30	緊急時モニタリングについて	・ 緊急時モニタリングの流れ ・ 緊急時モニタリング訓練の概要
150	放射線測定資機材の取扱いについて	・ 放射線の基礎 ・ 放射線測定資機材の取扱方法 ・ 放射線防護資機材の実装 ・ 環境試料採取の方法

【アンケート結果】

①研修会の理解度



②研修会の内容



リスクコミュニケーション研修会

③中核人材の育成

【対象】
消防、警察、市町、県職員

【開催日および受講者数】
令和元年12月23日 24人

所属	人数	所属	人数
市町職員	8	警察職員	2
消防職員	5	県職員	9

【カリキュラム】

分	項 目	内 容	受講生評価（講義の内容の満足度）												
90	放射線の基礎知識とその普及方法について	<ul style="list-style-type: none">放射線の基礎知識霧箱、簡易放射線測定器を用いた放射線の測定実験	<table><tr><th>満足度</th><th>人数</th></tr><tr><td>充実している</td><td>15</td></tr><tr><td>やや充実している</td><td>6</td></tr><tr><td>どちらともいえない</td><td>2</td></tr><tr><td>少し物足りない</td><td>0</td></tr><tr><td>物足りない</td><td>0</td></tr></table>	満足度	人数	充実している	15	やや充実している	6	どちらともいえない	2	少し物足りない	0	物足りない	0
満足度	人数														
充実している	15														
やや充実している	6														
どちらともいえない	2														
少し物足りない	0														
物足りない	0														
30	原子力災害時の防護措置の流れについて	<ul style="list-style-type: none">滋賀県の原子力災害対策各事態における防護措置の方法について	<table><tr><th>満足度</th><th>人数</th></tr><tr><td>充実している</td><td>12</td></tr><tr><td>やや充実している</td><td>8</td></tr><tr><td>どちらともいえない</td><td>1</td></tr><tr><td>少し物足りない</td><td>2</td></tr><tr><td>物足りない</td><td>0</td></tr></table>	満足度	人数	充実している	12	やや充実している	8	どちらともいえない	1	少し物足りない	2	物足りない	0
満足度	人数														
充実している	12														
やや充実している	8														
どちらともいえない	1														
少し物足りない	2														
物足りない	0														
210	滋賀県における原子力災害時のコミュニケーションについて	<p>【グループディスカッション】 原子力災害時に住民とコミュニケーションを行う上での課題およびその解決策についてグループで意見を出しあう</p> <p>【講義】 原子力災害時における住民とのコミュニケーションについて</p>	<p>グループディスカッションのテーマ設定</p> <table><tr><th>満足度</th><th>人数</th></tr><tr><td>非常に適切だった</td><td>7</td></tr><tr><td>適切だった</td><td>6</td></tr><tr><td>どちらともいえない</td><td>2</td></tr><tr><td>あまり適切ではなかった</td><td>0</td></tr><tr><td>適切ではなかった</td><td>0</td></tr></table>	満足度	人数	非常に適切だった	7	適切だった	6	どちらともいえない	2	あまり適切ではなかった	0	適切ではなかった	0
満足度	人数														
非常に適切だった	7														
適切だった	6														
どちらともいえない	2														
あまり適切ではなかった	0														
適切ではなかった	0														

【参考】研修一覧

研修名	概要	対象者	開催日	開催場所	主催
原子力防災基礎研修	<ul style="list-style-type: none">放射線の基礎原子力災害の特徴および対応	消 防、 警 察、 市町、県職員	7月19日	大津市	県
			7月26日	大阪市	
防災業務関係者研修	<ul style="list-style-type: none">原子力災害対応の基礎 (原子力災害時の民間事業者等の活動の流れ)防護資機材の着脱方法	災害時の応援 協定等を締結 している団 体・民間事業 者等	2月4日	大津市	県
			2月5日	大阪市	
			2月27日	米原市	
モニタリング技術基礎講座	<ul style="list-style-type: none">放射線の基礎原子力災害の概要緊急時モニタリングの基礎放射線測定器の取扱方法防護資機材の着脱方法	県職員	6月17、18日	大津市	原子力 規制庁

研修名	概要	対象者	開催日	開催場所	主催
原子力災害対策要員研修	<ul style="list-style-type: none">・ 原子力災害時の対応・ 原子力災害時の防護措置（原子力災害対策指針について）	消防、警察、市町、県職員	9月13日	大津市	内閣府
原子力災害現地災害対策本部図上演習	<ul style="list-style-type: none">・ 原子力災害現地災害対策本部の概要・ 防護措置意思決定の流れ・ 機能班別演習	市町、県職員	7月23、24日	美浜OFC	内閣府
モニタリング実務研修会	<ul style="list-style-type: none">・ 滋賀県の緊急時モニタリングの考え方・ 放射線測定器の取扱方法・ 防護資機材の着脱方法	緊急時モニタリング業務に従事する県職員	9月27日 10月3日	大津市	県

研修名	概要	対象者	開催日	開催場所	主催
中核人材研修 (セミナー)	<ul style="list-style-type: none"> 原子力防災における行政・事業者・市民の役割 原子力災害時の意思決定に関するグループディスカッション 	消 防、 警 察、 市町、 県職員	7月31日	東京都	内閣府
	原子力災害における対応と中核要員の役割		12月13日	東京都	内閣府
中核人材研修 (初級)	各事態における実施方針の策定	県職員	5月22日	東京都	内閣府
実務人材研修	・避難退域時検査等実施計画の策定	県職員	5月24日	東京都	内閣府
	・バスによる住民避難計画		7月25日		
リスクコミュニケーション研修会	<ul style="list-style-type: none"> 放射線の基礎 原子力災害時の住民とのコミュニケーションについて 	消 防、 警 察、 市町、 県職員	12月25日	大津市	県